

平成27年度湖南市
一般会計歳入歳出
決算の認定について

総務部

東庁舎の耐震診断が必要な建物として前年度予算が計上されているが東庁舎周辺整備事業との関係についての質疑に対し、前年度、耐震診断予算が承認されたが、経費の比較などで耐震診断は行わず、東庁舎周辺整備事業に統合すると説明。

徴収アドバイザー委託事業での費用対効果については、債務者が死亡され、相続の放棄や相続人が外国人で事務が停滞している場合の専門的なアドバイス、また、不能欠損処分の実施基準を確認させていた。契約業務管理経費について、平成26年以降、毎年減額になっているが、システムの一元化によるものか、同時に入札及び契約の公平性は保たれているのか。

質疑がありました。

歳入で市税の不能欠損額として滞納繰越分1419万4610円、固定資産税の滞納繰越分497万6435円となっていて、地方税の消滅期限が5年だが、その間の対応は適切だったのか質疑がありました。

建設経済部

市営住宅改修事業について、宮の森団地24戸の改修で9戸の実施、残る15戸の改修は。これに対し平成28年度に6戸、残り9戸は平成29年度以降になると説明。

内陸型国際総合物流ターミナル事業については、実現に向けてクリアすべきものは何か、総事業費はいくらか。これに対し、お金の調達も含めて事業全体をどういった形で進めていくのか、完成後の運営についてもどう進めるのかが課題。総

事業費は平成26年基本計画策定時で22億円と答弁。

草津線複線化促進事業では利用者拡大と複線化の可能性について質疑。利用者の多い順番は甲西駅、三雲駅、石部駅の順で、近年利用者数は横ばい状態ですと答弁。

政策調整部

保育士は、現在の人数で充足しているのか、臨時保育士の給与、保育士の待遇改善を求めた質疑。これに対し給与は県内では真ん中。近隣4市では、2万円から3万円湖南市が低い。今年度の賃金見直しの際に検討したいとの答弁。

消防用備品購入事業ではホースの点検と耐用年数が過ぎているものに対する対策については、消防団は年に4回分団ごとに訓練をしている。甲賀市と共同で常備消防との総合訓

練も実施。その時に同じホースは使わずホースを回して運用をしている。耐圧試験は現在行っていない、人命に関わることで取り入れていきたいと答弁。

甲賀病院の救急車の受け入れが減っている湖南消防での隊員の意見などをつかんでいるかの質疑に対し、危機管理・防災課ではつかんでいない。

市民環境部

火葬場施設整備事業では宮の森火葬場の跡地利用の計画について、また、火葬場施設整備事業遅延損害金が発生した理由、経過説明を求める意見に対し、宮の森、笹ヶ谷火葬場跡地は、まだ具体的にありません。

健康福祉部
生活保護費支給事業で前年度より増額になっている要因、扶助

費での不用額が多い問題。成人健診及び各種がん検診事業では前年度より検診受診者が減った理由。生活困窮者自立支援事業での取り組みの現状と成果についてなどの質疑がありました。

教育部

奨学資金給付事業の平成27年度決算額からみて、平成28年度の予算は500万円ほどの減となっているが理由について質疑。通学路については、安全対策へ教育委員会の取り組みと各課連携の中心的役割が必要ではないかと意見がありました。

反対討論
初めて自主財源と依存財源が逆転する事態、その要因は市税の減収。地方債残高では発行額が償還額を上回る状況が続いている。厳しい財政状況が予測される。

職員数は近隣の自治体と比べても少ない状況。保育現場では正規職員よりも嘱託、臨時の割合が多く、給与では近隣他市との比較で平均2万円も少ない。改善すべき。

賛成討論

経常収支比率が94.7%で平成22年度の88.2%から財政の硬直化が進んでいるのは確か。短期、長期、総合的に改善を図るとの回答をいただいた。予算審査での指摘が決算報告で改善されている。基金も2億5千万円積み立てている。

賛成多数で認定

反対討論

国民健康保険特別会計
歳入歳出決算の認定

交通事故により保険を使用された第三者行為に係る損害賠償金9件とあるがその内容について。人間ドック・脳ドック検診の実態と